

(公表様式2)

特別養護老人ホーム<内容評価項目>(18項目)

A-1 支援の基本		第三者評価結果
46	① 利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	Ⓐ・b・c
47	② 利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	Ⓐ・b・c
<p>〈特に評価が高い点〉 行事クラブ活動運営の担当者が、季節の行事、日々のレクリエーションや複数のクラブ活動等を盛り込み計画を立て、利用者が日中活動へ自由に参加できるよう働きかけており、地域のボランティアの協力を得たりしながら趣味活動が継続できるように支援している。</p> <p>法人全体で接遇教育に力を入れており、利用者との普段のかかわり合いの中での言葉使いにも活かされている。意思疎通の難しい利用者へ言葉かけをし、その表情や仕草等から思いを汲み取り、個々に合わせた対応が行われている。</p>		
A-2 身体介護		第三者評価結果
48	① 入浴介助、清拭等を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・b・c
49	② 排せつ介助を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・b・c
50	③ 移乗、移動を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・b・c
51	④ 褥瘡の発生予防を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>〈特に評価が高い点〉 入浴検討委員会が設置されており、脱衣所に入浴の際に気を付ける点を記載した入浴リスクカードを一人ひとりの専用カゴへ準備し、利用者の希望する入浴が安全にできるように配慮している。</p> <p>排泄チェックと食事水分義歯管理チェックにより、利用者の排泄状況に応じた支援がなされている。排泄用品は数種類準備され、皮膚状態や栄養マネジメント面から総合的に考慮し使用することで褥瘡発生予防にも役立っている。また、ポータブルトイレは使用せずできるだけ各居室前のトイレで排泄できるよう自立に向けた支援をしている。</p> <p>福祉用具は利用者の心身の状況を踏まえ選定し、残存機能を活かした自走訓練等の支援が行われている。</p>		
A-3 食生活		第三者評価結果
52	① 食事をおいしく食べられるよう工夫している。	Ⓐ・b・c
53	② 食事の提供、食事介助を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・b・c
54	③ 利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	Ⓐ・b・c
<p>〈特に評価の高い点〉 週1回のセレクトメニューは利用者が目の前で料理を選択できる方式で実施されている。行事の際には、お膳にカードを添える等の視覚で楽しめるような工夫が施され、誕生月に季節の果物を使用した手作りケーキで全員でお祝いする等、コミュニケーションを大切に食支援に取り組まれている。</p> <p>利用者が自分のペースで食事ができるようテーブルの高さや席順にも配慮している。</p> <p>定期的な歯科衛生士による指導や、嚥下障害のある利用者を対象にリストアップし嚥下能力の評価を行い必要時に水飲みテストや内視鏡検査を実施する等、積極的に経口摂取の継続ができるよう食事形態や姿勢等について検討し実践している。</p>		

A-4 終末期の対応		第三者評価結果
55	① 利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立している。	(a)・b・c
<p>〈特に評価が高い点〉 終末期・看取り等に関し「終末期・看取りに関する指針・マニュアル」が整備されており、利用開始時や利用者の心身状況の変化時に家族に説明がなされ、意向の確認を行い、事前確認書・同意書を取り交わしている。法人内で職員研修を行い理解や連携が築かれるなど終末期・看取りに対応する体制が、整備されている。</p>		
A-5 認知症ケア		第三者評価結果
56	① 認知症の状態に配慮したケアを行っている。	(a)・b・c
57	② 認知症高齢者が安心・安全に生活できるよう、環境の整備を行っている。	(a)・b・c
<p>〈特に評価が高い点〉 利用者がそれぞれに得意な事・興味の有る事等に参加できるよう趣味の継続機会や出来る範囲役割等を準備し、生活の張や楽しみを感じたりできるような取り組みを行っている。 ベットからの転落などリスクのある利用者に対し、クッション・マットレス等を配置したり、居室内の安全確保のため動線を考慮した備品等の配置など工夫がなされている。</p>		
A-6 機能訓練、介護予防		第三者評価結果
58	① 利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	(a)・b・c
<p>〈特に評価が高い点〉 入所時に本人・家族から意向を聞き取り、アセスメントを行い、モニタリングで心身の状況を把握しながら、リハビリ、口腔機能訓練等を、グループ内のPT・OT等と連携し、介護計画に添った支援を行い、介護予防活動を行っている。特に口腔機能訓練等の支援は、専門職を活かし優れた取組となっている。</p>		

A-7 健康管理、衛生管理		第三者評価結果
59	① 利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順が確立している。	Ⓐ・b・c
60	② 感染症や食中毒の発生予防を行っている。	a Ⓑ・c
61	③ 服薬の誤りがないよう対策を講じている。	Ⓐ・b・c
<p>〈特に評価が高い点〉 利用者一人ひとりの状況に応じて、定期的なバイタル測定がなされ、体調変化時は医師や看護師等に連絡指示を受けながら確認し対応している。緊急時のマニュアルも整備されている。 安全推進委員で感染症・食中毒発生防止のため定期的な器具・設備・備品の消毒管理を行い、感染症毎に対応できるマニュアルを整備し、研修により職員にも周知がなされている。 誤薬防止の為に各個人の服薬に顔写真を付けるなど工夫を行うほか、服薬のダブルチェックも行われ、誤薬の減少が見られるなど対応の成果が出ている。</p> <p>〈改善が求められる点〉 感染防止(インフルエンザ等)面から、職場に感染源を持ち込まないよう、職員、家族の発症時の対応マニュアル(職員の出勤停止等の検討含む)の検討が望まれる。</p>		
A-8 建物・設備		第三者評価結果
62	① 施設の建物・設備について、利用者の快適性に配慮している。	Ⓐ・b・c
<p>〈特に評価が高い点〉 施設内の清掃は、委託業者により保清が保たれており、共有スペースも明るく広い風通しの良いスペースになっている。トイレにタイマーを設置し、トイレ利用中の利用者以外の支援が必要になっても利用者の状況を把握できるように工夫したり、動線の安全確保も取っている。備品等も担当者により常に消毒・点検・整備され安全に配慮している。談話スペース等には、利用者様の作品の展示や施設イベントお知らせが掲示されている。テレビが設置される他、新聞・雑誌等が置かれ利用者は自由に閲覧できるようになっている。</p>		
A-9 家族との連携		第三者評価結果
63	① 利用者の家族との連携を適切に行っている。	Ⓐ・b・c
<p>〈特に評価が高い点〉 毎月、施設行事・各クラブ活動・作品紹介・職員利用者の様子を載せた会報誌「ガーデン便り」を家族に送付し、理解と安心を得るとともに、行事の際はご家族に参加を呼びかけている他、家族懇親会等も開催している。 平成26年の10月から家族からの情報、家族への説明記録、事故報告などの連絡様式を改正し、色分けする工夫を行い家族へ説明した内容もすぐ識別でき情報を共有しやすくなっている。</p>		